

10月20日（火）

夏休み中に発明工夫展と読書感想文に 挑戦した北中生

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、今年は特別な夏休みとなりました。日数も9日間と短くなりました。そんな中で、夏休みにしかできないことに積極的に取り組んだ生徒がいました。

表彰式が中止となり、入賞の発表のみとなったために公表が遅くなりました。受賞者が発表され、ネットでも紹介され始めたこの時期に紹介します。

【読書感想文コンクール】

9日間の短い夏休み、進路実現に向けての学習予定があったにもかかわらず、2名の3年生が読書感想文に取り組みました。どちらも自分のこれからの生き方や日常生活の充実を目指し、読書を通して深く考えています。

瑞浪市入選

3年 K・M 『それでも、でもだから、走る』

「この『タスキメシ』という本は、主人公の早馬と私が重なり合ううちに、私の中の陸上の一部として、走り続ける理由になってくれた。」
(感想文より抜粋)

瑞浪市入選

3年 Y・S 「犬と私」

「犬を飼うときに、主人公は母親と10の約束をしました。しかし、主人公が大人になるにつれてその関係に微妙な変化が生まれてきます。」
(感想文より抜粋)

【火災予防ポスター】 3年生が頑張りました！

令和2年度瑞浪市火災予防ポスター入賞者

瑞浪市消防協会会長賞 3年 M・M

瑞浪市危険物安全協会会長賞 3年 S・K

特選 3年 S・M

優秀賞 3年 A・R 3年 A・A 3年 O・A

3年 K・Y 3年 S・S

入選 3年 A・S 3年 A・M 3年 E・A 3年 O・Y

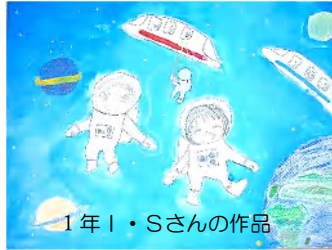
3年 K・N 3年 S・K 3年 M・H 3年 W・M

【発明工夫展】

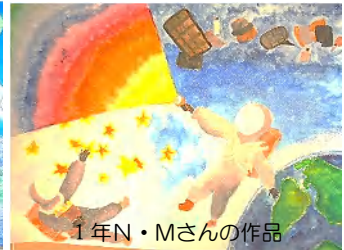
1年生の活躍が目立ちました！



教育長賞に輝いた
1年K・Kさんの作品
(市のHPより)



1年I・Sさんの作品



1年N・Mさんの作品



1年N・Yさんの作品



2年Y・Mさんの作品